

意見要旨

提言骨子（案）は、本専門部会における議論の結果を踏まえたものになっており、内容面について、いずれも賛成である。現時点で特に加筆を希望する事項はない。

あえて付言すると、個々の提言は、全て同時に実現されることが望ましいが、必ずしもそれが現実的ではない場合も想定されることから、課題の解決を少しでも前に進めるという観点からは、その優先順位を明確にする必要があると考える。

現状から何も変わらないという事態は避けるべきである。

そして、出入国管理行政における喫緊の課題は、送還忌避者の増加や収容の長期化を防止することである。

そこで、頑なに送還を忌避する者の存在が現場の職員にとって大きな負担となっていることに鑑み、いわゆる全件収容主義とされているところの運用を改めるほか、これに伴い、対象となる外国人の適切な管理・監督に資する措置、例えば、罰則で担保された退去等の命令を発することができる制度の創設や、仮放免されて逃亡等した者に対する罰則の創設等についても優先的に取り組むべきであると考えます。

難民認定制度については様々な検討事項が指摘されていると承知しており、それらを解決することが重要ではないと言うものではないが、難民認定制度に関する全ての検討事項が解決されなければ他の提言について取り組むことができないというのでは、本専門部会が設置された目的を達成できないものと考えます。

以 上